



「HOT」

クールビズで始まった2005年の夏、殿方はネクタイを外し部屋は28度に設定されました。28度に設定された部屋で仕事をしていると以外に「暑い」なあということを感じております。

クールビズ以前の部屋は冷房でかなり冷やされていたため夏でも長袖のカーディガンが必要でしたが、今年はノースリーブ系のものを多く着ようになりました。考えてみればずい分電気の無駄使いをしていたんだと改めて考えさせられます。しかし連日の熱帯夜には悩まされております。

夏は嫌いではないのですが、今年は6月中旬から「真夏」という感じでもう少し『夏』が短くてもいいかとも思います。さてそんな暑い夏のある日のこと、元上司の講演を聞く機会がありました。私は愛媛松山で4年間イベント制作会社に勤めておりました。もと上司とはその時の社長です。仮にK氏としておきましょう。K氏は地元放送局のテレビやラジオのパーソナリティーを20代の頃からしておりまして、現在はフリーアナウンサーとしての顔よりも市町村や国土交通省のイベントや企画のプロデュース業が中心となり日々忙しい毎日を送っています。ストレートな性格で明朗活発そしてとにかくよくしゃべります。時間と興味のあることならば何時間でも一人で話していることもさほど苦にはならないようでした。そしてとにかく「熱い」人です。

以前とある町の大きな野外イベント当日、

天気予報は午後から雨ということで、スタッフは傘やら雨具など各人が朝用意していましたら、「気合がたりない、自分達が濡れること心配をどうする。降ると思うから雨が降る。降らないと思えば雨は降らない」と朝一番で怒鳴られます。そう少し無理がありますしちょっとアニマル浜口さんに似ているのかもしれない。イベント当日結果的に雨は降りませんでした。気合で雨が降らなかったとは思いますが、心意気はたいしたものです。そんなK氏とは5年ぶりに会いました。50代に突入したと笑っていました。

講演は1時間の予定でしたが、相変わらずの話しぶりで1時間30分近くやはり「熱く」語っておりました。学生運動の支援をしていたこと、両親のこと、チャレンジ精神で突っ走った20代時代の番組のこと、30代で出会った人のこと、40代になる時戸惑いがあったこと、そして今の自分のこと。K氏は言います「50代は通過点に過ぎない」「日々自分が成長できると思える。」と……。今日課は毎日コンビニエンスストアに行くこと。コンビニには限られたスペースにとにかく売れる商品しかおかないため日本のヒット商品、また経済の傾向まで感じられるようで、移り変わる品々を見るのだそうです。

企画やアイデアが浮かばないことは、日常とまったく違う行動を故意にとってみるのだそうです。例えば普段は読まない、本

つもちゃんの

ドタバタ
ラジオ日記

を読んでもらうとか、本屋で10代の雑誌をみてもらうとか？髪を洗う時いつもと逆に座ってみてもらうとか？全くいつもとしない行動をとることによってまた違う自分となり新しい発想がうまれるのだそうです。この方法が万人に受け入れられるとは思いませんが、バイタリティーあふれる言葉の一つ一つにはどこか惹きつけられる魅力があります。

本当に「熱い」人でした。5年前と変わらず、「熱い」人でした。時にとことん『熱い』人に会うといい刺激になります。頑張っている人をみるとなんだか元気になります。

ただ「暑さ」同様時に・・・というのがいいような気がします。

お す す め 取材日記

「観音寺 伊吹島」

観音寺港から船で25分、瀬戸内海浮かぶ周囲5.4キロの小島伊吹島に行ってみてまいりました。「伊吹」という名前の由来は諸説ありますが、息が吹きでる島からいづき・・・になったとか、その由来にちなんで島の西側の海から海底から気泡がでている場所がいまもあります。さて、イリコの島として有名な伊吹ですが、そのほかにもさまざまな魅力があります。島四国のお寺やお地蔵さん達、琴弾八幡宮の分霊を勧請した伊吹八幡神社。民俗資料館には島のさまざまな歴史が残っています。美しい島々が見える高台またお産を済ませた女性が約1ヶ月間養生のために生活をしていたという出部屋があったことなど（現在、建物はないのですが）坂道をゆっくり歩き、島をまわると不思議な魅力にあふれていました

